

令和 9 年度

学校推薦型選抜 学生募集要項



本学では、インターネット出願を導入しています。
冊子による学生募集要項の配付は行いませんので、本学入試情報サイト
(<https://www.aichi-edu.ac.jp/exam/>) から閲覧またはダウンロードしてください。

令和 9 年 4 月入学者用の学生募集要項です。

愛知教育大学

目 次

各ポリシーの紹介	1
令和 9 年度 学校推薦型選抜入学者選抜日程の概要	4
1. 趣旨	5
2. 募集人員	5
3. 出願要件	6
4. 推薦人員	6
5. 各課程・専攻・専修・コースが望む学生像	7
6. 出願期間	10
7. 出願書類等	10
8. 出願手続	11
9. 受験票及び受験案内のダウンロード, 印刷	13
10. 入学者選抜方法	13
11. 障害のある入学志願者との事前相談	21
12. 免許教科の決定について	21
13. 合格者発表	22
14. 入学手続	22
15. 学生寮への入寮について	23
16. 入学辞退手続	23
17. 不合格者の再出願	23
18. 教育・学習データ利活用について	23
19. 個人情報の取り扱いについて	24
20. 入学試験個人成績の開示	24
21. 安全保障輸出管理について	24
22. 「こども性暴力防止法」に関する対応について	24
◆愛知教育大学へのアクセス	25

卒業認定・学位授与の方針【ディプロマ・ポリシー】

愛知教育大学は、広域の拠点的作用を果たす教育大学として、人間理解と真理探究に努め、教育が直面する現代的課題への対応力を有し、子どもたちの未来を拓くことができる豊かな人間性と確かな実践力を身に付けた専門職業人の養成を使命としています。

そこで、規定の年限在学し、以下のような資質・能力を身に付けるとともに、所定の単位を取得した人に学士（教育学）の学位を授与します。

◆学校教員養成課程

- 1 学校教員として求められる基本的な資質・能力と実践的指導力
 - 1-1 子どもの個性を尊重し、一人一人に寄り添い学びを支援する力
 - 1-2 学校教育の意義や今日的な課題を理解し、先端技術を効果的に活用しながら、子どもの豊かな学びの実現に向けて実践する力
 - 1-3 学校安全と多様な子どもに対応できる基礎的な知識を身に付け、適切に学級経営を行う力
- 2 同僚、保護者や地域社会等と連携し協働する態度
- 3 自己を振り返り、絶えず向上心を持って学び続ける姿勢
- 4
 - ・幼児教育専攻では、子どもの発達過程を理解し、一人一人に応じた教育・保育を適切に行う力
 - ・義務教育専攻では、子ども理解に基づく生活指導や生徒指導、学級経営と、綿密な教材研究に基づく確かな学習指導を適切に行う力
 - ・高等学校教育専攻では、専門的な資質・能力を身に付け、教科の指導や学習方法の開発を行う力
 - ・特別支援教育専攻では、多様な障害のある子どもの状態と教育的ニーズを把握し、生活指導や学習指導、自立活動等の指導及び支援を適切に行う力
 - ・養護教育専攻では、学校におけるすべての教育活動を通して、健康教育と健康管理を適切に行い、子どもの発育・発達の支援に向けてコーディネートする力

◆教育支援専門職養成課程

- 1 教育を支える専門職として求められる基本的な資質・能力と実践力
 - 1-1 子ども、保護者及び教員が抱える問題に、幅広い教養と市民感覚に基づいて柔軟に対応する力
 - 1-2 専門職としての基本的な知識・技能を身に付け、多職種と連携・協働して、諸課題に取り組む力
- 2 同僚、保護者や地域社会等と連携し協働する態度
- 3 自己を振り返り、絶えず向上心を持って学び続ける姿勢
- 4
 - ・心理コースでは、心理の基礎から応用までを学び、心理支援において課題を解決する力
 - ・福祉コースでは、人と環境に焦点をあて、子どもや家庭・地域の課題を理解し、社会資源を活用しながら当事者と共に課題を解決する力
 - ・教育ガバナンスコースでは、学校事務等の公益的な教育や行政のさまざまな調整や戦略的企画の立案・推進等を通して、学校・地域等の課題を解決する力

教育課程編成・実施の方針【カリキュラム・ポリシー】

愛知教育大学は、広域の拠点的作用を果たす教育大学として、人間理解と真理探究に努め、教育が直面する現代的課題への対応力を有し、子どもたちの未来を拓くことができる豊かな人間性と確かな実践力を身に付けた専門職業人の養成を使命としています。

この使命を達成し、ディプロマ・ポリシーに基づいた学生を育成するために、以下の科目等で教育課程を編成・実施し、授業目標への到達度で成績評価を行うとともに、セメスター毎の評価を学修ポートフォリオに蓄積することにより、学生が学びの履歴を確認できる機会を提供します。

- 1 大学での学びの入り口として、深い教養を身に付ける必要感や目指す職業人の魅力や社会的意義を認識し、主体的な問題発見及び問題解決能力を育成するための基礎教養科目
 - 1-1 多様な学修歴を有する入学者に対応できるように、大学生活や社会に出る準備段階としての学修意欲を高め、学習規律を身に付ける【初年次演習】や【キャリアデザイン科目】を設定します。
 - 1-2 学校現場で求められている「課題を発見する力」「情報を読み取る力」「複眼的に物事を捉える力」「他者と協働する力」「解決に導く力」等の主体的な問題発見及び問題解決能力や能動的な学修活動能力を育成する【課題探究科目】を設定します。

- 2 教職及び教育を支える専門職に必要な資質・能力の基礎を育成するための教育実践教養科目
 - 2－1 教育実践を支える職業人の役割について考えるとともに、新しい持続可能な社会に向けた、ユニバーサルデザインの学校教育の基盤について、多面的に捉えて理解する【教職教養科目】を設定します。
 - 2－2 学校現場で対応の要望が高まる外国人児童生徒支援教育、学校安全等を題材に、新しい教育の機会均等やマネジメントの在り方について探る【現代的教育課題対応科目】を設定します。
 - 2－3 子どもの生活実態を知り、子どもとのコミュニケーション能力を養い、感性を磨くなど、教育実践を支えるための実践力を高めることを目的に、附属学校や国内外の連携協力校、地域社会等の協力を得て実施する【実践力育成科目】を設定します。
- 3 各課程において教職又は教育支援専門職としてのキャリアの形成及びその専門性を高めるための専修科目
 - 3－1 学校教員養成課程では、教職の基礎となる理論や指導実践に関わる知識と経験を修得する教職課程対応科目群からなる【専攻基礎科目】と、専門領域の精深な知識を修得して教職に求められる学識と能力を培う【専攻科目】を設定します。
 - 3－2 教育支援専門職養成課程では、学校教育とそれを支える分野の基礎的な理論と実践に関わる知識と経験を修得する【教育学基礎科目】【教育支援科目】と、専門領域の精深な知識を修得して各専門職に求められる学識と能力を培う【専攻科目】を設定します。
 - 3－3 各課程の専攻基礎科目、教育学基礎科目、教育支援科目及び専攻科目で修得・形成した知識、経験、学識、能力を統合・発展させ、課程、専攻、専修、コース等の専門分野を超えた学び合いを通して、自律的に専門性を高める【未来共創科目】を設定します。
- 4 大学での学びと実践を結び付ける、往還的学修のための実習科目
 - 4－1 学校教員養成課程では、3年次以降に実践的な模擬指導演習や学校現場での教育実習で、身に付けた専門性を試行して学修の到達を振り返る場として【教育実践開発科目】を設定します。
 - 4－2 教育支援専門職養成課程では、支援の実践を学び、知識と技術を統合する場として【心理実習】【社会福祉実習】【学校・自治体インターンシップ】等を設定します。
- 5 大学での学びの集大成としての卒業研究
 - 5－1 専門分野に関わり、自ら研究テーマを設定し、文献調査、実地調査、質問紙調査、実験、制作などを通して学術的に探究し、まとめ、発表する【卒業研究】を設定します。

入学者受入れの方針【アドミッション・ポリシー】

愛知教育大学は、広域の拠点的作用を果たす教育大学として、人間理解と真理探究に努め、教育が直面する現代的課題への対応力を有し、子どもたちの未来を拓くことができる豊かな人間性と確かな実践力を身に付けた専門職業人の養成を使命としています。

学校教員養成課程では、幼稚園・小学校・中学校・高等学校・特別支援学校等の教員として活躍できる専門的な知識・技能を有し、教育諸課題に適切に対応できる教員の養成を目的としています。

教育支援専門職養成課程では、心理・社会福祉・教育行政等の専門的な知識・技能を有し、教育活動と子どもたちを支援することができる専門職の養成を目的としています。

そこで、次のような人を求めています。

- 1 子どもの成長に関わることに喜びを感じ、将来、教員や専門職として学校教育に携わる強い意欲を持つ人
- 2 確かな基礎学力を有し、関連する幅広い分野の学びに関心を持つ人
- 3 創造力や探究心を持つ人
- 4 多様な考えや価値観を持つ人を認め、自らの考えを表現しながら協働できる人
- 5 学校と地域社会との関わりに関心があり、地域の活動に参加することができる人

（入学者選抜の基本方針）

大学入学共通テストを課さない総合型選抜と大学入学共通テストを課す学校推薦型選抜及び一般選抜（前期日程、後期日程）により、将来、教職又は教育支援専門職を目指すために本学での教育を望むものとして必要な知識・技能、資質・能力のほか、教職への意欲等を学力の3要素等から多面的・総合的に評価して、多様な入学者を選抜します。

これらの各選抜と学力の3要素等との対応は、別表（入学者選抜方法と「学力の3要素等」の対応表）のようになります。

【学校推薦型選抜】

学校推薦型選抜では、大学入学共通テストの成績（300 点満点）、AP 試験（100 点満点）、出願書類（本人記載資料の「学びの履歴」及び出身学校の調査書で 100 点満点）により評価します。

なお、出身学校の推薦書と調査書、本人記載資料の「志望理由書」と「学びの履歴」は、AP 試験における資料として用います。

◎知識・技能

学校教員又は教育支援専門職として求められる基本的な資質・能力と実践的指導力（教育支援専門職では実践力）の習得に必要な確かな基礎学力を有しているかを、大学入学共通テスト、AP 試験及び「学びの履歴」、調査書で評価します。

◎思考力・判断力・表現力

問題を発見し解決するために求められる思考力・判断力・表現力の基礎が育まれているかを、AP 試験、調査書で評価します。大学入学共通テストでも思考力を評価します。

◎意欲・関心・態度

学校教員又は教育支援専門職として学校教育に携わる意欲のほか、子どもへの愛情と子どもの成長への関心と情熱、創造力・探究心を AP 試験、「学びの履歴」で評価します。その際、調査書と「志望理由書」を資料として用います。

◎主体性・協働性

主体性と協働性を AP 試験、「学びの履歴」、調査書で評価します。その際、推薦書を資料として用います。

本学への入学前に学習しておくことが期待される内容

本学では、学校教員や教育支援専門職の養成にあたり幅広い教養と基礎学力等を身に付けていることを求めています。そのため、本学に入学するまでに学習しておくことが期待される内容は、以下のとおりです。

- ① 高等学校段階までの教育課程における基礎的・基本的な知識・技能と思考力
- ② 自らが専攻しようとする教科等に関わる基本的な内容
- ③ 上記①②を通して、多面的・多角的にものごとをとらえ、論理的に思考・判断できるように幅広く学びを深め、探究する態度

なお、将来、学校教育に教員又は教育支援専門職として携わることを望む者として、高等学校段階での教育課程による学びだけでなく、自ら子どもとの交流経験を求めたり、学校教育及び教育に関わる諸問題への関心を深めたりするための主体的な学びや活動を通して、多様な価値観や考えを持つ人々とコミュニケーションする力や、自らの考えを深めてそれを表現する力を身に付けておくことを望みます。

入学者選抜方法と「学力の 3 要素等」の対応表

○：各入学者選抜において重点的に評価します。 ◆：AP 試験に用います。

入試 区分	入学者選抜方法	「学力の3要素等」			
		知 識 技 能	思 考 力 判 断 力 表 現 力	主体性を持って 多様な人々と 協働して学ぶ姿勢	教職又は 教育支援専門職に 就こうとする意欲
学校推薦型選抜	大学入学共通テスト	○	○		
	AP 試験 ※1	○	○	○	○
	調 査 書	○	○	○	
	学びの履歴	○		○	○
	推 薦 書			◆	◆
	志望理由書				◆

※1 AP 試験：「アドミッション・ポリシーに基づく試験」のことで、本学が望む学生像に必要な学力を面接のなかで測るものです。（討論、実技、筆記等を含むことがあります。）

令和9年度 学校推薦型選抜

入学者選抜日程の概要

出願サイトでの出願登録期間

令和8年10月29日（木）～11月10日（火）



出 願 期 間

令和8年11月5日（木）～11日（水）



試 験 期 日

令和8年12月5日（土）



合 格 発 表

令和9年2月10日（水）



入 学 手 続

～ 令和9年2月17日（水）

注意

1. 国公立大学の学校推薦型選抜(大学入学共通テストを課す場合、課さない場合を含めて)へ出願することができるのは、一つの大学・学部に限ります。
2. 本学においては、総合型選抜と学校推薦型選抜の両方に出願することが可能です。（ただし、総合型選抜の合格者は除く。）

1. 趣旨

出身高等学校（中等教育学校の後期課程及び特別支援学校の高等部を含む。以下同じ）学校長の推薦を中心として、多様な選抜方法により、多様な適性・能力を持ち、本学各専攻・専修・コースに明確な志望の意思のある学生を選抜し、本学の教育研究の一層の活性化を図るため、学校推薦型選抜を実施します。

2. 募集人員

本年度、学校推薦型選抜を実施する専攻・専修・コース及びその募集人員は次のとおりです。なお、志願者数が募集人員を下回った場合及び選考の結果、合格者数が募集人員に満たなかった場合は、一般選抜の募集人員にその欠員分を含めます。

課程・専攻・専修・コース					募 集 人 数	
学 校 教 員 養 成 課 程	幼 児 教 育 専 攻				7 名	
	義 務 教 育 専 攻	学 校 教 育 科 学 専 修			7 名	
		生 活 ・ 総 合 専 修			3 名	
		I C T 活 用 支 援 専 修			4 名	
		日 本 語 支 援 専 修			5 名	
		教 科 指 導 系	国 語 専 修			17 名
			社 会 専 修			19 名
			算 数 ・ 数 学 専 修			24 名
			理 科 専 修			24 名
			音 楽 専 修			3 名
			図 画 工 作 ・ 美 術 専 修			5 名
			保 健 体 育 専 修			9 名
			も の づ く り ・ 技 術 専 修			2 名
			家 庭 専 修			7 名
		英 語 専 修			3 名	
	高 等 学 校 教 育 専 攻	教 科 学 習 開 発 系	国 語 ・ 書 道 専 修			2 名
			地 歴 ・ 公 民 専 修			2 名
			数 学 専 修			2 名
			理 科 専 修			7 名
			英 語 専 修			5 名
特 別 支 援 教 育 専 攻				6 名		
養 護 教 育 専 攻				10 名		
養 成 課 程 専 門 職 教 育 支 援	心 理 コ ー ス				15 名	
	福 祉 コ ー ス				6 名	
	教 育 ガ バ ナ ン ス コ ー ス				15 名	

3. 出願要件

令和9年度大学入学共通テストにおける試験教科・科目のうち、本学が課した教科・科目をすべて受験する者で、次の条件を全て満たす者としてします。

- (1) 調査書の学習成績概評がB（全体の評定平均値が3.5）以上であって、学校長が次頁の「各課程・専攻・専修・コースが望む学生像」に合致しており、かつ学校教員養成課程においては教職への強い意欲のあるとして、責任をもって推薦できる者
- (2) 高等学校（中等教育学校の後期課程及び特別支援学校高等部を含む。以下同じ。）を令和9年3月卒業見込みの者及び学校教育法施行規則第93条第3項の規定に基づき令和8年度中に高等学校を卒業又は卒業見込みの者、若しくは文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を令和8年度中に修了又は修了見込みの者
- (3) 保健体育専修を志願する者は、高等学校在籍中にスポーツ全般において校内外に所属する部・クラブ活動の一員として試合に出場し、かつ競技した者
※出願書類の“学びの履歴”（10ページ参照）に出場した大会の正式な名称を記入すること。
- (4) 合格した場合、必ず入学することを確約できる者

4. 推薦人員（各学校から推薦できる人数）

各高等学校（中等教育学校の後期課程及び特別支援学校の高等部を含む）から推薦できる人数は、**募集する専攻・専修・コースごとに1校あたり各3名以内です。出願前には必ずこの人数以内であることを確認してください。**（各専攻・専修・コースごとに3名推薦していただいた場合、1校あたり最大75名まで推薦が可能です。）

- (1) 国公立大学の学校推薦型選抜（大学入学共通テストを課す場合、課さない場合を含めて）へ出願することができるのは、一つの大学・学部に限ります。

5. 各課程・専攻・専修・コースが望む学生像

アドミッション・ポリシーをふまえ、各課程・専攻・専修・コースでは、次のような学生の入学を望みます。

学 校 教 員 養 成 課 程	幼 児 教 育 専 攻		乳幼児を取り巻く諸問題に興味・関心があり、 幼児教育・保育に関する専門的知識に関心をもつとともに、 子どもに共感し、 環境を通した遊びを中心とした保育を構想し、 柔軟に展開できる資質・能力として、 特に、 子ども理解にもとづくコミュニケーション能力や問題解決力、 協働や創造の力などを身につけることに意欲的な者を望みます。	
	義 務 教 育 専 攻	学 校 教 育 科 学 専 修	実践的指導力を有する教員の養成を目的に、 教育学、 キャリア教育学や教育心理学などの教育諸科学に関する専門的知識に関心をもつとともに、「ものごとを多角的に理解し、 多様性を尊重する力」「他者と協働し、 課題に取り組む力」「答えのない課題に対しても、 情報を収集しながら意欲的に取り組む力」を有する者を望みます。	
		生 活 ・ 総 合 専 修	児童・生徒の興味・関心に目を向け、 それらを教材として組み立てるために必要な子ども理解の視点や専門的知識に関心をもつとともに、 体験から生まれる学びを価値づけたり、 地域の題材から課題を設定し解決をしていく探究のプロセスの構想、 そこにもとづく指導計画を立案したりすることに意欲的な者を望みます。	
		ICT 活 用 支 援 専 修	ICT や ICT を活用した教育に興味関心があり、 物事を論理的に考えることができ、 ICT を使って問題を解決したり物事を効率的に進めることに意欲をもつとともに、 将来、 情報モラル育成のための専門的知識やICT を積極的にかつ有効的に教育に活用できる技術を身につけたいと考えており、 卒業後は、 学校でICT の活用やプログラミングを教えたり、 学校全体の情報化に中心的に貢献することを希望している者を望みます。	
		日 本 語 支 援 専 修	日本語支援専修は、 日本語教育を学ぶだけでなく、 日本の義務教育（小中学校）の教員としての専門的な知識・技能を習得することが目的です。言語文化背景が異なる子どもたちをめぐる諸問題に関心があり、 その子どもたちを支援するために必要な専門的知識を積極的に得ようとするとともに、 特に、 子どもの多様性を認める力や問題解決力、 協働の力などを身につけることに意欲的な者を望みます。	
		教 科 指 導 系	国 語 専 修	国語科や国語科を核とした関連諸分野、 および言語やリテラシーなどに興味関心があり、 それらを教えるために求められる専門的知識に関心をもつとともに、 特に、 ものごとを読み解く力、 論理的な思考力や創造力などを身につけ、 将来教育現場において、 それを生かしていくことに意欲的な者を望みます。
			社 会 専 修	社会科や社会科を核とした関連諸分野に興味関心があり、 それらを教えるために求められる専門的知識に関心を持ち、 特に、 社会的な諸事象を読み解く力、 知識と知識を結びつけて新たな知を導き出す力、 論理的な思考力や判断力、 創造力や探究心を育むことに意欲的であり、 かつ多様な価値観を認めて対話や協働を行うことができ、 教員として学校教育に携わる強い意欲をもつ者を望みます。
			算 数 ・ 数 学 専 修	算数・数学科およびその関連諸学科とそれらの学習を通した児童生徒の知的成長に興味関心がある者を望みます。また、 それらの教育に必要な専門的知識に関心を持ち、 高等学校「数学Ⅲ」の素養を前提として、 数量的スキルや数学的な考え方・表現力等を身につけることに意欲的な者を望みます。算数・数学をよりわかりやすく教えたり、 そのおもしろさや有用性を伝えられる教員をめざして、 努力しようと志す者を望みます。
			理 科 専 修	児童の身のまわりのものや現象に興味関心があり、 それらを教材として組み立てるために必要な専門的知識に関心をもつとともに、 特に、 自然科学に関する客観的思考力や分析的思考力、 合理的にものごとを説明する力などを身につけることに意欲的な者を望みます。また、 自然への敬愛や科学技術の素晴らしさを具体的に分かりやすく教えたり、 その意義や有用性を伝えたりできる教員をめざして、 努力しようと志している者を望みます。

学 校 教 員 養 成 課 程	義 務 教 育 専 攻	教 科 指 導 系	音 楽 専 修	児童生徒をとりまく音や音楽、および音楽表現に興味関心をもち、本学入学以前には、基礎的な音楽技能を身につけ、さらに教科書に記載された基礎的な音楽理論や音楽史に関する事項を学習しておくことを期待します。入学後は、音楽に関する創造力と構成力、答えのない問題に解を見出していく力、および音楽表現に必要な技能などを身につけたいと考える者で、将来、教育現場においてそれらを生かしていこうとする強い意志をもつ者を望みます。
			図画工作・美術専修	美術鑑賞や制作活動などに興味関心をもち、本学入学以前に観察力や基礎的な描写力などを十分にもっていることを期待します。入学後は、美術に関する創造力と構想力、表現に必要な技能などを身につけることに意欲的、図画工作・美術教育を通して感性や想像力を育み、生活や社会の中の美術や文化と豊かに関わる子どもの育成に意欲のある者を望みます。
			保 健 体 育 専 修	スポーツに親しみをもち、スポーツ実践を介した豊かな経験を有し、かつ健康に関する内容に興味関心がある者を望みます。また、人と広く交流し、コミュニケーションをとることができる資質や能力を有し、子どもに愛情をもって寄り添い、支え続け、子どもの成長にかかわる教員になろうとする強い意欲をもって、保健体育に関する学びを深め、探究しようとする者を望みます。
			ものづくり・技術専修	ものづくりが好きで、科学技術や技術教育に関わる諸問題などに興味関心をもち、科学技術に関する高校までの基礎的な数理的知識をもって受験することを期待します。入学後は、幅広い工学（木工・金工・電気・機械・情報）および農学の知識と技能を身につけて、将来教育現場において、これらの能力を生かそうとする者を望みます。
			家 庭 専 修	生活に関わる諸問題などに興味関心があり、それらを教材として組み立てるために必要な専門的知識に関心をもつとともに、特に、人間の生活とその教育について深く洞察する力、客観的思考力や分析的思考力、合理的にものごとを説明する力などを身につけ、将来教員としてそれらを生かしていこうとする強い意志と意欲をもつ者を望みます。
			英 語 専 修	英語科や英語科を核とした関連諸分野とそれらの学習を通した児童生徒の知的成長に興味関心があり、学校現場での教育に携わるために求められる専門的および実践的知識に関心をもつとともに、特に、論理的な思考力、想像力や英語でのコミュニケーション能力などを身につけることに意欲的な者を望みます。
	高 等 学 校 教 育 専 攻	教 科 学 習 開 発 系	国 語 ・ 書 道 専 修	国語科や国語科を核とした関連諸分野、および言語やリテラシーなどに興味関心があり、それらを教えるために求められる専門的知識に関心をもつとともに、特に、ものごとを読み解く力、論理的な思考力や創造力などを身につけ、将来教育現場において、それを生かしていくことに意欲的な者を望みます。また、専門分野を学問ととらえ、高等学校教員にふさわしい学びを深めることに強い意欲をもつ者を望みます。
			地 歴 ・ 公 民 専 修	地歴科や公民科を核とした関連諸分野に深い関心をもち、特に、資料や情報の読解力や分析力、知識と知識を結びつけて新たな知を導き出す力、論理的な思考力や判断力、創造力や探究心を身につけることに意欲的であり、かつ多様な価値観を認めて対話や協働を行うことができ、教員として学校教育に携わる強い意欲をもつ者を望みます。また、専門分野を学問ととらえ、高等学校教員にふさわしい学びを深めることに強い意欲をもつ者を望みます。
			数 学 専 修	数学や数理科学全般、さらには、それらの学習を通した生徒の知的成長に興味関心がある者を望みます。また、それらの教育に必要な専門的知識に関心をもち、高等学校「数学Ⅲ」の素養を前提として、数量的スキルや数学的な思考力・表現力等の数理リテラシーを身につけることに意欲的な者を望みます。また、専門分野を学問ととらえ、高等学校教員にふさわしい学びを深めることに強い意欲をもつ者を望みます。

学 校 教 員 養 成 課 程	高 等 学 校 教 育 専 攻	教 科 学 習 開 発 系	理 科 専 修	理科や理科を核とした関連諸分野に興味関心があり、それらを教材として組み立てるために必要な専門的知識に関心をもつとともに、特に、自然科学に関する客観的思考力や分析的思考力、合理的なものごとを説明する力などを身につけることに意欲的な者を望みます。また、専門分野を学問ととらえ、高等学校教員にふさわしい学びを深めることに強い意欲をもつ者を望みます。
			英 語 専 修	英語科や英語科を核とした関連諸分野とそれらの学習を通じた生徒の知的成長に興味関心があり、学校現場での教育に携わるために求められる専門的および実践的知識に関心をもつとともに、特に、論理的な思考力、想像力や英語でのコミュニケーション能力などを身につけることに意欲的な者を望みます。また、専門分野を学問ととらえ、高等学校教員にふさわしい学びを深めることに強い意欲をもつ者を望みます。
	特 別 支 援 教 育 専 攻		視覚障害・聴覚障害・知的障害・肢体不自由・病弱・発達障害など、さまざまな障害のある子どもの教育について幅広い専門性をもち、実践的指導力を身につけた教員をめざす者を望みます。そのために、障害のある子どもの実態を客観的にとらえ、積極的に働きかける力があり、他の教員たちと協働しながら、特別支援教育の諸課題に対して問題意識を高め、みずから考え工夫し解決していく強い意志と意欲をもつ者を望みます。	
	養 護 教 育 専 攻		学校の保健管理や保健教育、子どものからだところの健康問題に興味関心があり、それらの教育に携わるために求められる専門的知識に関心をもつ者を望みます。特に、専門科目を学ぶために必要な理数系科目を深く洞察する科学的探究心を育み、分析的思考力やコミュニケーション能力などを身につけることに意欲的な者を望みます。	
教 育 支 援 専 門 職 養 成 課 程	心 理 コ ー ス		子どもの心や行動のプロセスを理解し、子どもの健全な発達を支援し、家庭・学校・地域と連携し、子どもの安全な生活を支援する、心理学の基礎知識に加え、心理臨床やカウンセリングの技能を身につけた、公認心理師等の心理の専門職の養成をめざしています。そのために、教育・心理学に興味・関心をもち、スクールカウンセラー等の教育支援者として活躍したいという強い意志と意欲をもつ者を望みます。	
	福 祉 コ ー ス		子どもやその家庭をとりまくさまざまな課題に対する相談援助・生活支援を担う高度な知識・技術を身につけた、スクールソーシャルワーカーをはじめとする福祉の専門職の養成をめざしています。そのために、教育・福祉に興味・関心をもち、学校や地域と連携しながら子どもの健やかな未来を支援する教育支援者、福祉専門職として活躍したいという強い意志と意欲をもつ者を望みます。	
	教 育 ガ バ ナ ン ス コ ー ス		学校をはじめとする教育事務の調整、戦略的企画の立案、管理事務に対応できる資質・能力を備え、学校や教育にかかわる業務を専門的見地から支援し、情報活用能力や多文化への理解力を身につけた、学校や教育機関で活躍できる教育事務職員の養成をめざしています。そのために、教育・法律・行政・情報・多文化理解に興味・関心をもち、教育支援者として活躍したいという強い意志と意欲をもつ者を望みます。	

6. 出願期間

令和8年11月5日（木）から11月11日（水）17時まで

出願書類の提出は郵送（簡易書留速達）に限ります。11月11日（水）17時までに入試課に必着となるよう送付すること。出願期間を過ぎた場合には受理しませんので、郵便事情を考慮し、早めに郵送してください。ただし、11月9日（月）以前の郵便局受付印がある「簡易書留速達」に限り、出願期間後に到着したものでも受理します。

7. 出願書類等

下記のア、イ、ウの書類を出願期間内に提出してください。（エは後日提出してください。）

受理した出願書類は返還しません。

ア. 出願サイトから印刷し、提出するもの

提出書類等	記入者	摘 要
1 入学志願票	出 願 者	出願内容等に間違いがないか確認し、出願サイト登録後にカラー印刷してください。 （注）出願前3か月以内に撮影した正面、上半身、無帽、背景なしの顔写真データを用意し、インターネット出願システムからアップロードしてください。
2 宛名シート 及び出願書類 チェックリスト	出 願 者	出願封筒（角形2号）用に張り付ける宛名シート及び出願書類チェックリストを、出願サイトからカラー印刷し、封筒に張り付けてください。

イ. 所属する高等学校及び出願者が準備する書類

本学所定の様式（下記3，5，6は入試情報サイトに掲載※）で印刷し，作成する書類。（調査書は除く）

※URL：<https://www.aichi-edu.ac.jp/exam/faculty/info/> からダウンロードした本学所定の様式に **5** 及び **6** は出願者本人が，**3** 及び **4** は学校長が記入し，提出。

提出書類等	記入者	摘 要
3 推 薦 書	学 校 長	（本学所定様式） <u>厳封してください。</u> 推薦理由の記入にあっては，ワード等使用可。（ただし，その場合は出力部分を貼付して複写し，複写したものに記名押印のこと） 別添書類はつけないでください。
4 調 査 書	学 校 長	（文部科学省所定様式） 学校長職員，記載責任者の印を押し，厳封されたものを提出してください。
5 志 望 理 由 書	出 願 者	（本学所定様式） 本学へ入学を希望する理由について，600字程度で記述してください。 <u>（注）生成系AI（ChatGPT等）が生成した文章をそのまま又は一部修正して提出することは不正行為となります。志望理由については，皆さん自身の考えで作成してください。</u>
6 学 び の 履 歴	出 願 者	（本学所定様式） これまでに経験した教育に関わる活動，志願する専攻，専修，コースにかかわる諸活動等，受賞歴，各種資格や検定等について記入してください。なお，資料はA4判のファイル一冊に綴じること（作成方法については入試情報サイト（ https://www.aichi-edu.ac.jp/exam/faculty/info/recommend/ ）「（参考）学びの履歴の提出方法について」をご確認ください。）。 <u>（注）保健体育専修を志願する者は，学びの履歴に出場した大会の正式な名称を記入し選手として競技したことが分かる資料を添付すること。</u>

ウ. 該当者のみが提出する書類

本学所定の様式（入試情報サイトに掲載※）で印刷し，作成する書類。

※URL：<https://www.aichi-edu.ac.jp/exam/faculty/info/>からダウンロードした本学所定の様式に出願者本人が記入し，提出。

	該 当 者	書 類	記 入 者	摘 要
7	音楽専修を志願する者	音楽実技 内 容 届	出 願 者	受験する選択内容を記入し，提出してください。

エ. 共通テストの成績請求（試験後提出）

共通テストの成績請求のため，出願サイト上で共通テストの「申込番号」等を入力してください。

入力方法等については，12月5日（土）以降，出願サイトを通して連絡します。

回答締切：12月11日（金）

8. 出願手続

本学はインターネット出願システム Post@net（ポスタネット）を利用しています。

出願手続は出願登録期間に①出願登録，②検定料の支払い，③出願書類を郵送し，本学に到着することによって完了します。（①②③のいずれかが行われなかった場合は，出願が受け付けられません。）

【インターネット出願登録及び入学検定料支払期間】は以下のとおりです。（出願受付期間前から出願情報の登録及び検定料の支払いは可能です。）

【インターネット出願登録期間】 令和8年10月29日（木）9時 から 11月10日（火）17時00分まで

【入学検定料支払い期間】 令和8年10月29日（木）9時 から 11月10日（火）23時59分まで

出願の流れ

1. 事前準備

学生募集要項を確認し，調査書，証明写真データ等の必要書類を準備してください。

2. アカウント作成

インターネット出願登録には Post@net でのアカウント登録が必要です。

画面の手順に従い，必要事項を入力して登録を行います。Post@net へのリンクは，インターネット出願登録期間中，本学入試情報サイト（<https://www.aichi-edu.ac.jp/exam/faculty/info/>）に掲載します。

3. インターネット出願登録

トップページの「学校一覧」から「愛知教育大学」を検索してください。

「【初回】出願」ボタンをクリック後，手順や留意事項を確認し，画面に従って必要事項を入力してください。

4. 検定料の支払い

検定料の支払い方法を選択し，支払い期限までに入学検定料 17,000 円（別途，支払手数料がかかります。）を支払います。

入学検定料の支払いは下記のいずれかの方法で行ってください。

①クレジットカード ②コンビニエンスストア ③金融機関 ATM（ペイジー）

支払い方法の選択後に表示された支払い情報は，支払いの際に必要な番号です。必ず画面を印刷，またはメモしてください。なお，検定料の支払い後は，登録内容の変更はできませんので，注意してください。

5. 入学志願票と宛名シートの印刷

検定料の支払い後に届く「インターネット出願 支払完了」のメールに記載の URL，または出願サイト内「出願内容一覧」の「出願内容の確認」から，入学志願票と宛名シート及びチェックリストがダウンロードできるようになります。

6. 必要書類の郵送

宛名シート及びチェックリストをカラー印刷してください。出願書類が全て揃っているか、チェックリストにて確認してください。市販の角形2号封筒の表面に宛名シート、裏面にチェックリストを貼り付けてください。必要書類一式を封入し、**簡易書留速達**で郵送してください。出願書類等の提出は郵送に限ります。

「出願内容一覧」で確認できる証明写真に「承認待ち」と表示される場合があります。出願書類の送付にあたり、証明写真の「承認」をお待ちいただく必要はありません。準備が整い次第、出願書類を郵送してください。

7. 必要書類の郵送

宛名シート及びチェックリストをカラー印刷してください。出願書類が全て揃っているか、チェックリストにて確認してください。市販の角形2号封筒の表面に宛名シート、裏面にチェックリストを貼り付けてください。必要書類一式を封入し、**簡易書留速達**で郵送してください。出願書類等の提出は郵送に限ります。

■インターネット出願に関する問い合わせ先（開設期間：インターネット出願登録期間中の平日 9：00～17：00）

出願サポート窓口 TEL 075-341-8670

■入学試験に関する問い合わせ

愛知教育大学入試課 TEL 0566-26-2202

出願にあたっての留意事項

- (1) 出願書類に虚偽の記入をした者に対しては、入学後でも入学を取り消すことがあります。
- (2) 出願に必要な書類のうち、一つでも不備がある場合は受理できませんので、郵送する前に、もう一度すべての書類がそろっているか確認してください。
- (3) 検定料の支払い後は、志望内容の変更には一切応じません。

また、払い込まれた検定料は次の場合を除き返還しません。

- ① 出願書類を提出しなかった場合(返還額：振込手数料を差引いた額)
- ② 検定料を誤って二重に払い込んだ場合(返還額：振込手数料を差引いた額)
- ③ 出願書類等に不備があり、受理されなかった場合(返還額：振込手数料を差引いた額)

* 検定料の返還請求方法

志願者の申し出により返還しますので、次の（ア）、（イ）の書類を郵送してください。

（令和9年2月19日（金）まで）

（ア）**入学検定料の支払いを証明する書類（領収書等）**

（イ）**「入学検定料返還請求書」（便せん等に次の1～7を明記してください。）**

- 1 返還請求の理由
- 2 試験区分（総合型（一般受験者対象））
- 3 氏名（フリガナ）
- 4 現住所
- 5 連絡先電話番号
- 6 返還請求額（17,000円）
- 7 返還金振込先
 - 1)金融機関名（可能な限り、郵便局・ゆうちょ銀行以外の金融機関）
 - 2)支店名
 - 3)預金種別(当座・普通)
 - 4)口座番号
 - 5)口座名義人（フリガナ）
 - 6)口座名義人が志願者と異なる場合は、志願者との続柄

【郵送先】 〒448-8542 愛知県刈谷市井ヶ谷町広沢1 愛知教育大学入試課 TEL0566-26-2202

返還時期は、令和9年3月末（請求時期により異なります。）までを予定しております。

また、大規模な災害により災害救助法適用地域において被災又は避難されている学資負担者又は志願者は、入学検定料が免除になることがありますので、入学検定料を支払う前の出願開始日1週間前までに 本学入試情報サイト「入学検定料の免除について」 (<https://www.aichi-edu.ac.jp/exam/student-life/support.html>) を確認の上、申請してください

9. 受験票及び受験案内のダウンロード、印刷

受験票及び受験案内は、令和8年11月30日（月）頃からダウンロード及び印刷が可能となります。出願サイトから受験票をダウンロード及びカラー印刷し、試験当日に持参してください。

また、受験案内は受験票に記載の二次元コードまたは URL より確認できます。受験案内には受験上の注意事項（集合時間や場所等）が記載されていますので、ダウンロード及びカラー印刷し、試験当日に持参してください。

10. 入学者選抜方法

- (1) 選抜は、大学入学共通テスト、出願書類（調査書・学びの履歴・推薦書及び志望理由書）、AP 試験を総合して行います。
- (2) 最低基準点は、AP 試験の配点の2分の1以上、かつ総点が55%以上とします。調査書及び大学入学共通テストの最低基準点は特に定めません。
- (3) (2)で不合格となった者を除き、専攻・専修・コース毎に総点の高得点順位の者から合格者とします。
- (4) (2)のとおり最低基準点を定めていることから、合格者数が募集人員を下回ることがあります。
- (5) 大学入学共通テスト及び個別学力検査等については14～16ページの別表1に記載のとおりです。なお、志願する専攻・専修・コースによって受験する科目が異なるので十分注意してください。
- (6) 試験日程は次のとおりとし、「AP 試験」を行います。

試験期日	令和8年12月5日（土）
開始時刻	9時00分～
試験場	愛知教育大学

受験者は、インターネット出願サイトからカラー印刷した受験票を持参してください。

- (7) AP 試験の方法

18～20ページの別表2に記載のとおりです。

別表1 学校推薦型選抜の配点

課程・専攻・専修・コース		大学入学共通テストの利用教科・科目名				大学入学共通テストの配点						個別学力検査等の配点			配点合計
		教科	科目名等			国語	地歴 公民	数学	理科	外国語	情報	計	AP試験	学びの履歴 及び調査書	
学校教員養成課程	幼児教育専攻	国語 地歴 公民 理科 数学	国 「地総、地探」, 「歴総、日探」, 「歴総、世探」 「地総／歴総／公」, 「公、倫」, 「公、政・経」 〔欄外<理科の選択方法について>参照〕 「数Ⅰ, 数A」 「数Ⅱ, 数B, 数C」	2教科 から 3科目	200	*300	200	*300	200	50	300※注	100	100	200	500
		外国語 情報	英、独、仏、中、韓 情報Ⅰ	から1	〔6教科8科目〕										
	学校教育科学専修	国語 地歴 公民 理科 数学	国 「地総、地探」, 「歴総、日探」, 「歴総、世探」 「地総／歴総／公」, 「公、倫」, 「公、政・経」 〔欄外<理科の選択方法について>参照〕 「数Ⅰ, 数A」 「数Ⅱ, 数B, 数C」	2教科 から 3科目	200	*300	200	*300	200	50	300※注	100	100	200	500
		外国語 情報	英、独、仏、中、韓 情報Ⅰ	から1	〔6教科8科目〕										
	生活・総合専修	国語 地歴 公民 理科 数学	国 「地総、地探」, 「歴総、日探」, 「歴総、世探」 「地総／歴総／公」, 「公、倫」, 「公、政・経」 〔欄外<理科の選択方法について>参照〕 「数Ⅰ, 数A」 「数Ⅱ, 数B, 数C」	2教科 から 3科目	200	*300	200	*300	200	50	300※注	100	100	200	500
		外国語 情報	英、独、仏、中、韓 情報Ⅰ	から1	〔6教科8科目〕										
	ICT活用支援専修	国語 地歴 公民 理科 数学	国 「地総、地探」, 「歴総、日探」, 「歴総、世探」 「地総／歴総／公」, 「公、倫」, 「公、政・経」 〔欄外<理科の選択方法について>参照〕 「数Ⅰ, 数A」 「数Ⅱ, 数B, 数C」	から1 から2	200	100	200	200	200	50	300※注	100	100	200	500
		外国語 情報	英、独、仏、中、韓 情報Ⅰ	から1	〔6教科8科目〕										
	日本語支援専修	国語 地歴 公民 理科 数学	国 「地総、地探」, 「歴総、日探」, 「歴総、世探」 「地総／歴総／公」, 「公、倫」, 「公、政・経」 〔欄外<理科の選択方法について>参照〕 「数Ⅰ, 数A」 「数Ⅱ, 数B, 数C」	から2 から1	200	200	200	100	200	50	300※注	100	100	200	500
		外国語 情報	英、独、仏、中、韓 情報Ⅰ	から1	〔6教科8科目〕										
義務教育専攻	国語専修	国語 地歴 公民 理科 数学	国 「地総、地探」, 「歴総、日探」, 「歴総、世探」 「地総／歴総／公」, 「公、倫」, 「公、政・経」 〔欄外<理科の選択方法について>参照〕 「数Ⅰ, 数A」 「数Ⅱ, 数B, 数C」	から2 から1	200	200	200	100	200	50	300※注	100	100	200	500
		外国語 情報	英、独、仏、中、韓 情報Ⅰ	から1	〔6教科8科目〕										
	社会専修	国語 地歴 公民 理科 数学	国 「地総、地探」, 「歴総、日探」, 「歴総、世探」 「地総／歴総／公」, 「公、倫」, 「公、政・経」 〔欄外<理科の選択方法について>参照〕 「数Ⅰ, 数A」 「数Ⅱ, 数B, 数C」	から2 から1	200	200	200	100	200	50	300※注	100	100	200	500
		外国語 情報	英、独、仏、中、韓 情報Ⅰ	から1	〔6教科8科目〕										
	算数・数学専修	国語 地歴 公民 理科 数学	国 「地総、地探」, 「歴総、日探」, 「歴総、世探」 「地総／歴総／公」, 「公、倫」, 「公、政・経」 〔欄外<理科の選択方法について>参照〕 「数Ⅰ, 数A」 「数Ⅱ, 数B, 数C」	から1 から2	200	100	200	200	200	50	300※注	100	100	200	500
		外国語 情報	英、独、仏、中、韓 情報Ⅰ	から1	〔6教科8科目〕										
理科専修	国語 地歴 公民 理科 数学	国 「地総、地探」, 「歴総、日探」, 「歴総、世探」 「地総／歴総／公」, 「公、倫」, 「公、政・経」 〔欄外<理科の選択方法について>参照〕 「数Ⅰ, 数A」 「数Ⅱ, 数B, 数C」	から1 から2	200	100	200	200	200	50	300※注	100	100	200	500	
	外国語 情報	英、独、仏、中、韓 情報Ⅰ	から1	〔6教科8科目〕											
音楽専修	国語 地歴 公民 理科 数学	国 「地総、地探」, 「歴総、日探」, 「歴総、世探」 「地総／歴総／公」, 「公、倫」, 「公、政・経」 〔欄外<理科の選択方法について>参照〕 「数Ⅰ, 数A」 「数Ⅱ, 数B, 数C」	から1 から1	200	100	200	100	200	50	300※注	100	100	200	500	
	外国語 情報	英、独、仏、中、韓 情報Ⅰ	から1	〔6教科7科目〕											

課程・専攻・ 専修・コース				大学入学共通テストの利用教科・科目名				大学入学共通テストの配点						個別学力検査等の配点			配点合計
				教科	科目名等			国語	地歴 公民	数学	理科	外国語	情報	計	AP試験	学びの履歴 及び調査書	
学校教員養成課程	義務教育専攻	教科指導系	図画工作・ 美術専修	国語 地歴 公民 理科 数学	国 「地総、地探」、「歴総、日探」、「歴総、世探」 「地総／歴総／公」、「公、倫」、「公、政・経」 「数Ⅰ、数A」 「数Ⅱ、数B、数C」	から1 から1	200	100	200	100	200	50	300※注	100	100	200	500
				外国語 情報	英、独、仏、中、韓 情報Ⅰ	から1	[6教科7科目]										
				国語 地歴 公民 理科 数学	国 「地総、地探」、「歴総、日探」、「歴総、世探」 「地総／歴総／公」、「公、倫」、「公、政・経」 「数Ⅰ、数A」 「数Ⅱ、数B、数C」	から1 から1	200	100	200	100	200	50	300※注	100	100	200	500
				外国語 情報	英、独、仏、中、韓 情報Ⅰ	から1	[6教科7科目]										
				国語 地歴 公民 理科 数学	国 「地総、地探」、「歴総、日探」、「歴総、世探」 「地総／歴総／公」、「公、倫」、「公、政・経」 「数Ⅰ、数A」 「数Ⅱ、数B、数C」	から1 から2	200	100	200	200	200	50	300※注	100	100	200	500
	外国語 情報	英、独、仏、中、韓 情報Ⅰ	から1	[6教科8科目]													
	家庭専修	国語 地歴 公民 理科 数学	国 「地総、地探」、「歴総、日探」、「歴総、世探」 「地総／歴総／公」、「公、倫」、「公、政・経」 「数Ⅰ、数A」 「数Ⅱ、数B、数C」	2教科 から 3科目	200	*300	200	*300	200	50	300※注	100	100	200	500		
		外国語 情報	英、独、仏、中、韓 情報Ⅰ	から1	[6教科8科目]												
		国語 地歴 公民 理科 数学	国 「地総、地探」、「歴総、日探」、「歴総、世探」 「地総／歴総／公」、「公、倫」、「公、政・経」 「数Ⅰ、数A」 「数Ⅱ、数B、数C」	から2 から1	200	200	200	100	200	50	300※注	100	100	200	500		
		外国語 情報	英、独、仏、中、韓 情報Ⅰ	から1	[6教科8科目]												
英語専修		国語 地歴 公民 理科 数学	国 「地総、地探」、「歴総、日探」、「歴総、世探」 「地総／歴総／公」、「公、倫」、「公、政・経」 「数Ⅰ、数A」 「数Ⅱ、数B、数C」	から2 から1	200	200	200	100	200	50	300※注	100	100	200	500		
外国語 情報	英、独、仏、中、韓 情報Ⅰ	から1	[6教科8科目]														
高等学校教育専攻	教科学習開発系	国語・書道専修	国語 地歴 公民 理科 数学	国 「地総、地探」、「歴総、日探」、「歴総、世探」 「地総／歴総／公」、「公、倫」、「公、政・経」 「数Ⅰ、数A」 「数Ⅱ、数B、数C」	から2 から1	200	200	200	100	200	50	300※注	100	100	200	500	
			外国語 情報	英、独、仏、中、韓 情報Ⅰ	から1	[6教科8科目]											
	地歴・公民専修	国語 地歴 公民 理科 数学	国 「地総、地探」、「歴総、日探」、「歴総、世探」 「地総／歴総／公」、「公、倫」、「公、政・経」 「数Ⅰ、数A」 「数Ⅱ、数B、数C」	から2 から1	200	200	200	100	200	50	300※注	100	100	200	500		
		外国語 情報	英、独、仏、中、韓 情報Ⅰ	から1	[6教科8科目]												
		国語 地歴 公民 理科 数学	国 「地総、地探」、「歴総、日探」、「歴総、世探」 「地総／歴総／公」、「公、倫」、「公、政・経」 「数Ⅰ、数A」 「数Ⅱ、数B、数C」	から1 から2	200	100	200	200	200	50	300※注	100	100	200	500		
		外国語 情報	英、独、仏、中、韓 情報Ⅰ	から1	[6教科8科目]												
		理科専修	国語 地歴 公民 理科 数学	国 「地総、地探」、「歴総、日探」、「歴総、世探」 「地総／歴総／公」、「公、倫」、「公、政・経」 「数Ⅰ、数A」 「数Ⅱ、数B、数C」	から1 から2	200	100	200	200	200	50	300※注	100	100	200	500	
外国語 情報	英、独、仏、中、韓 情報Ⅰ	から1	[6教科8科目]														
英語専修	国語 地歴 公民 理科 数学	国 「地総、地探」、「歴総、日探」、「歴総、世探」 「地総／歴総／公」、「公、倫」、「公、政・経」 「数Ⅰ、数A」 「数Ⅱ、数B、数C」	から2 から1	200	200	200	100	200	50	300※注	100	100	200	500			
外国語 情報	英、独、仏、中、韓 情報Ⅰ	から1	[6教科8科目]														

課程・専攻・ 専修・コース		大学入学共通テストの利用教科・科目名		大学入学共通テストの配点								個別学力検査等の配点		配点合計
		教科	科目名等	国語	地歴 公民	数学	理科	外国語	情報	計	AP試験	学びの履歴 及び調査書	計	
学校 教員 養成 課程	特別支援教育専攻	国語 地歴 公民 理科 数学 外国語 情報	国 「地総、地探」、「歴総、日探」、「歴総、世探」 「地総／歴総／公」、「公、倫」、「公、政・経」 [欄外<理科の選択方法について>参照] 「数Ⅰ、数A」 「数Ⅱ、数B、数C」 英、独、仏、中、韓 情報Ⅰ から1 [6教科8科目]	200	*300	200	*300	200	50	300※注	100	100	200	500
	養護教育専攻	国語 地歴 公民 理科 数学 外国語 情報	国 「地総、地探」、「歴総、日探」、「歴総、世探」 「地総／歴総／公」、「公、倫」、「公、政・経」 [欄外<理科の選択方法について>参照] 「数Ⅰ、数A」 「数Ⅱ、数B、数C」 英、独、仏、中、韓 情報Ⅰ から1 [6教科8科目]	200	*300	200	*300	200	50	300※注	100	100	200	500
	教育支援専門職業養成課程 福祉コース 教育ガバナンスコース	国語 地歴 公民 理科 数学 外国語 情報	国 「地総、地探」、「歴総、日探」、「歴総、世探」 「地総／歴総／公」、「公、倫」、「公、政・経」 [欄外<理科の選択方法について>参照] 「数Ⅰ、数A」 「数Ⅱ、数B、数C」 英、独、仏、中、韓 情報Ⅰ から1 [6教科8科目]	200	*300	200	*300	200	50	300※注	100	100	200	500

【大学入学共通テストの利用教科・科目名】欄

地歴及び公民については、合わせて1教科とします。地歴及び公民において、2科目受験する場合、選択できない組み合わせがあります（<地歴・公民の選択方法について>下表参照）。

「地理総合／歴史総合／公共」科目については、2出題範囲を選択解答します。

理科については、基礎を付していない科目は1つで1科目としますが、基礎を付した科目は4つの出題範囲から2つを選択して1科目とします。

「物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎」科目については、2出題範囲を選択解答します。

指定した教科・科目数を超えて受験した場合の取り扱いについては、以下のとおりとします。

なお、「地歴・公民」及び「理科」を2科目受験する場合、前半に解答した科目を「第1解答科目」、後半に解答した科目を「第2解答科目」とします。

①「地歴・公民」から1科目選択となっている場合は、「地歴・公民」の「第1解答科目」の成績を用います。

②「理科」から1科目選択となっている場合は、「理科」の「第1解答科目」の成績を用います。

③「地歴・公民」、「理科」から2教科3科目選択となっている場合は、それぞれ「第1解答科目」と、いずれか高得点の「第2解答科目」の成績を用います。

外国語の「英語」に「リスニング」を含みます。（リスニング免除者は除く。）

大学入学共通テストの外国語の科目英語を利用する場合のリーディングとリスニングの配分比率については、リーディング（160点満点）、リスニング（40点満点）に換算して200点満点とします。

なお、障害等により共通テストの英語におけるリスニングを免除された志願者の試験結果については、リーディングの成績を200点満点に換算します。

<地歴・公民の選択方法について>

教科	科目	地理歴史/公民の科目の選択方法
地理歴史/公民	(a) 「地理総合／歴史総合／公共」	左記科目の6科目のうちから最大2科目を選択し、解答します。 (a)：必修科目を組み合わせた出題科目 (b)：必修科目と選択科目を組み合わせた出題科目
	(b) 「地理総合、地理探究」 「歴史総合、日本史探究」 「歴史総合、世界史探究」 「公共、倫理」 「公共、政治・経済」	・ (a) の「地理総合／歴史総合／公共」は、「地理総合」、「歴史総合」、及び「公共」の3つを出題範囲とし、そのうち2つを選択解答します。 ・ 2科目を選択する場合、以下の組合せを選択することはできません。 <u>(b)のうち2科目を選択する場合</u> 「公共、倫理」と「公共、政治・経済」の組合せを選択することができません。 <u>(b)のうちから1教科及び(a)を選択する場合</u> (b)については、(a)で選択解答したものと同一名称を含む科目を選択することはできません。（注1）

（注1）地理歴史及び公民で2科目を選択する受験者が、(b)のうちから1科目及び(a)を選択する場合において選択可能な組合せは以下のとおりとなります。

		(a)		
		「地理総合」 「歴史総合」	「地理総合」 「公共」	「歴史総合」 「公共」
(b)	「地理総合、地理探究」	×	×	○
	「歴史総合、日本史探究」	×	○	×
	「歴史総合、世界史探究」	×	○	×
	「公共、倫理」	○	×	×
	「公共、政治・経済」	○	×	×

- ・ (b)のうちから「地理総合、地理探究」を選択する場合、(a)では「歴史総合」及び「公共」の組合せ。
- ・ (b)のうちから「歴史総合、日本史探究」及び「歴史総合、世界史探究」を選択する場合、(a)では「地理総合」及び「公共」の組合せ。
- ・ (b)のうちから「公共、倫理」または「公共、政治・経済」を選択する場合、(a)では「地理総合」及び「歴史総合」の組合せ。

○：選択可能 ×：選択不可

<理科の選択方法について>

教 科		課 程	専攻、専修、コース	理科の科目の選択方法
理 科	「物理基礎／ 化学基礎／ 生物基礎／ 地学基礎」 「物 理」 「化 学」 「生 物」 「地 学」	学校教員養成課程	ICT活用支援専修 算数・数学専修（義務教育）、数学専修（高等学校教育） 理科専修（義務教育）、理科専修（高等学校教育） ものづくり・技術専修	理科の科目欄の5つから基礎を付していない4つのうち2つを選択する。
			日本語支援専修 国語専修（義務教育）、国語・書道専修（高等学校教育） 社会専修（義務教育）、地歴・公民専修（高等学校教育） 音楽専修 図画工作・美術専修 保健体育専修 英語専修（義務教育）、英語専修（高等学校教育）	理科の科目欄の5つから1つを選択する。
			幼児教育専攻 学校教育科学専修 生活・総合専修 家庭専修 特別支援教育専攻 養護教育専攻	・「地歴・公民」1科目選択の場合は、理科の科目欄の5つから基礎を付していない4つのうち2つを選択する。 ・「地歴・公民」2科目選択の場合は、理科の科目欄の5つから1つを選択する。
		教育支援専門職業養成課程	心理コース 福祉コース 教育ガバナンスコース	

※1 共通テスト利用教科・科目のうち「地歴・公民」、「理科」の2教科からの選択利用となっている専攻、専修、コースは、「地歴・公民」から1科目選択の場合と「地歴・公民」から2科目選択の場合の選択方法に区分した。

※2 理科については、基礎を付していない科目は1つで1科目としますが、基礎を付した科目は4つの出題範囲から2つを選択して1科目とします。

※3 指定した教科・科目数を超えて受験した場合の取り扱いについては、以下のとおりとします。

なお、「地歴・公民」及び「理科」を2科目受験する場合、前半に解答した科目を「第1解答科目」、後半に解答した科目を「第2解答科目」とします。

○「地歴・公民」から1科目選択となっている場合は、「地歴・公民」の「第1解答科目」の成績を用います。

○「理科」から1科目選択となっている場合は、「理科」の「第1解答科目」の成績を用います。

○「地歴・公民」、「理科」から2教科3科目選択となっている場合は、それぞれ「第1解答科目」と、いずれか高得点の「第2解答科目」の成績を用います。

【大学入学共通テスト・個別学力検査等の配点】欄

*大学入学共通テストの「地歴・公民」及び「理科」から2教科3科目の成績（各科目100点）を用います。

※注：大学入学共通テストの配点を掛率により、300点に調整します。

別表2
A P 試験の方法

専攻・専修・コース			A	P	試	験	
学 校 教 員 養 成 課 程	幼 児 教 育 専 攻		複数の教員による集団面接を行います。個々の理解力，思考力，判断力，コミュニケーション能力，自己表現力をみるとともに，幼稚園教諭や保育士への意欲・適性などを総合的に判断します。				
	義 務 教 育 専 攻	学 校 教 育 科 学 専 修		複数の教員による集団討論・集団面接を行います。教育の基本的事項に関する理解力，多様なものの見方，コミュニケーション能力，積極的に挑戦する態度をみるとともに，教職への志望の意欲・適性などを総合的に判断します。			
		生 活 ・ 総 合 専 修		自己アピールプレゼンテーション（５分）を行った後，複数の教員による面接（５分）を行い，プレゼンテーションの内容や生活科・総合的学習に関する理解，思考力や表現力，教職への意欲・適性などから総合的に判断します。 【自己アピールプレゼンテーションについて】 ○自己アピールできるテーマ（高校時代に取り組んだ学び・活動，ボランティア活動や将来のキャリアデザイン等）を受験者が自由に設定し発表する。 ○発表方法：パソコンによるパワーポイント，模造紙等の紙媒体にまとめたもの，ポートフォリオや成果物等を用いてもよい。特技などを実演することも可。 ○プレゼンテーションで使用する資料等は，当日持参すること。また，パワーポイントを使用する場合はＵＳＢメモリにてデータを持参すること。自身のパソコンを持ち込むことも可。			
		ＩＣＴ活用支援専修		複数の教員による個別面接を行います。理解力，思考力，判断力，コミュニケーション能力，自己表現力をみるとともに，教員への志望の意欲・適性，ICT や ICT を活用した教育への興味・関心などを総合的に判断します。出願者数が多く，個別面接が現実的でない場合は，集団面接に変更することがあります。			
		日 本 語 支 援 専 修		複数の教員による個別面接により，日本語教育に関する興味・関心をみるとともに，教職への意欲・適性などを総合的に判断します。			
		教 科 指 導 系	国 語 専 修	複数の教員による集団面接を行います。個々の理解力，思考力，判断力，コミュニケーション能力，自己表現力をみるとともに，国語科の教員への志望の意欲・適性などを総合的に判断します。			
			社 会 専 修	複数の教員による集団面接を行います。社会科に関する興味・関心，物事を客観的に読み解く力，知識と知識を結びつける力，自分の言葉で表現する力をみるとともに，教職への志望の意欲・適性などを総合的に判断します。			

学 校 教 員 養 成 課 程	義 務 教 育 専 攻	教 科 指 導 系	算 数 ・ 数 学 専 修	複数の教員による集団面接を行います。数学内容に関する質問を通して、理解力・思考力・説明する力をみるとともに、受け答えを通じて小・中学校の教員への意欲・適性を総合的に判断します。
			理 科 専 修	複数の教員による個別もしくは集団面接を行います。個々の理解力、思考力、判断力、コミュニケーション能力、自己表現力をみるとともに、小・中学校の教員への志望の意欲・適性などを総合的に判断します。
			音 楽 専 修	実技と複数の教員による面接を行います。 実技では、「ピアノの任意の一曲と、声楽の任意の一曲」の演奏を課し、基礎的な音楽技能をみます。 面接では、個々の理解力、判断力、自己の意見や考えを表現するコミュニケーション能力をみるとともに、将来教育現場においてそれらを生かしていこうとする強い意志や教員としての適性などを総合的に判断します。
			図画工作・美術専修	実技と複数の教員による面接を行います。実技では、鉛筆デッサンで「与えられたモチーフを持つ手」をケント紙に描きます。面接では、個々の理解力、思考力、判断力、コミュニケーション能力、自己表現力をみるとともに、図画工作を得意とする教員、もしくは美術の教員への志望の意欲・適性などを総合的に判断します。
			保 健 体 育 専 修	複数の教員による集団面接を行います。コミュニケーション能力等をみるとともに、教職への志望の意欲・適性などを総合的に判断します。
			ものづくり・技術専修	複数の教員による個別面接を行います。将来、教職に就く強い意欲と、科学技術に興味・関心があるとともに、様々な課題解決のために創意・工夫する豊かな感性等を総合的に判断します。
			家 庭 専 修	複数の教員による個別もしくは集団面接を行います。生活の諸問題に対する興味・関心をみるとともに、教職への志望の意欲・適性などを総合的に判断します。
			英 語 専 修	複数の教員による個別もしくは集団面接を行います。英語の教科に関する知識・関心・技能を問うとともに、教職への意欲・適性などを総合的に判断します。
	高 等 学 校 教 育 専 攻	教 科 学 習 開 発 系	国 語 ・ 書 道 専 修	複数の教員による集団面接を行います。個々の理解力、思考力、判断力、コミュニケーション能力、自己表現力をみるとともに、国語科の教員への志望の意欲・適性などを総合的に判断します。
			地 歴 ・ 公 民 専 修	複数の教員による集団面接を行います。地歴・公民科の内容に関する興味関心、専門的知識を深く学ぼうとする姿勢、物事を客観的に読み解く力、知識と知識を結びつける力、自分の言葉で表現する力、そして教職への意欲や適性を総合的に判断します。
			数 学 専 修	複数の教員による集団面接を行います。数学内容に関する質問を通して、理解度・思考力・説明する力および数理科学に対する興味関心を計るとともに、受け答えを通じて高等学校教員への意欲・適性を総合的に判断します。

学 校 教 員 養 成 課 程	高 等 学 校 教 育 専 攻	教 科 学 習 開 発 系	理 科 専 修	複数の教員による個別もしくは集団面接を行います。個々の理解力、思考力、判断力、コミュニケーション能力、自己表現力をみるとともに、高等学校教員への志望の意欲・適性などを総合的に判断します。
			英 語 専 修	複数の教員による個別もしくは集団面接を行います。英語の教科に関する知識・関心・技能を問うとともに、教職への意欲・適性などを総合的に判断します。
	特 別 支 援 教 育 専 攻			複数の教員による個別面接を行います。特別支援教育に関する諸課題への問題意識と、思考力・判断力・コミュニケーション能力・自己表現力等をみるとともに、教職への志望の意欲・適性などを総合的に判断します。
	養 護 教 育 専 攻			複数の教員による集団面接を行います。健康に関する領域の理解力、思考力、判断力、コミュニケーション能力、自己表現力をみるとともに、養護教諭への志望の意欲・適性などを総合的に判断します。
教 育 支 援 専 門 職 養 成 課 程	心 理 コ ー ス			教育・心理に関する内容を含む複数の教員による面接により総合的に判断します。
	福 祉 コ ー ス			教育・福祉に関する内容を含む複数の教員による面接により総合的に判断します。
	教育ガバナンスコース			教育・社会・情報・文化に関する内容を含む複数の教員による面接により総合的に判断します。

※受験者数によっては、面接方法を変更することがあります。

11. 障害のある入学志願者との事前相談

本学に入学を志願する者で、受験上及び修学上の配慮を必要とする志願者もしくは不安を感じる志願者は、相談締切日までに必ず本学と相談してください。必要な場合は、本学において志願者又はその立場を代弁し得る出身学校関係者等との面談を行います。

相談内容によっては、対応に時間を要することもありますので出願前の早い時期に申し出てください。なお、この事前相談の内容が合否判定に影響することはありません。

(1) 相談締切日 令和8年9月28日(月)

(2) 相談申込み方法

「入学試験受験上の配慮申請書」により申込みしてください。

(本学指定様式によるものとします。様式については、下記問い合わせ先に連絡の上、請求してください。)

(3) 提出書類

ア 入学試験受験上の配慮申請書(本学指定様式)

イ 医師の診断書(コピー可)

(4) 問い合わせ先

愛知教育大学入試課 TEL 0566-26-2202

12. 免許教科の決定について

・免許教科について

義務教育専攻学校教育科学専修、生活・総合専修、ICT活用支援専修、日本語支援専修及び特別支援教育専攻においては、1つの教科の中学校教員免許状(二種もしくは一種)を取得することができます。この教科を「免許教科」と呼び、入学前に希望教科を選択していただく必要があります。

なお、免許教科は、入学手続き時に行う意向調査に基づき、大学が決定します。できる限り希望に添うように各教科への割り振りを行います。特定の教科に希望が集中することなどにより、必ずしも第1希望の教科を履修できない場合も考えられることをご承知おきください。

また、免許教科の決定後は、いかなる理由があっても、変更は一切認められません。

決定した免許教科の専門教育科目の授業では、当該教科について知識や技能の高い該当専攻の学生とともに学ぶことになることから、入学手続き時の意向調査の際には、各免許教科に関する学修に当たっての要望やアドバイスを提示しますので、慎重に免許教科を選択することを求めます。

以下の本学 Web サイトにおいて、「免許教科選択に当たっての留意点」を掲載していますので、併せて確認してください。

愛知教育大学 Web サイト HOME > 学部・大学院 > 免許教科

https://www.aichi-edu.ac.jp/edu/gakubu/license_subject.html

免許教科 専攻・専修		国語	社会	数学	理科	音楽	美術	保健 体育	技術	家庭	英語
義務教育 専攻	学校教育科学専修	○	○※	○	○	○	○	○	○	○	○
	生活・総合専修	○	○※	○	○※	○	○	○	○※	○※	○
	ICT活用支援専修	○	○	○※	○※	○	○	○	○※	○	○
	日本語支援専修	○									○
特別支援教育専攻		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

※専修として選択を薦める教科

13. 合格者発表

- (1) 学校長あてに郵便により通知します。
- (2) 令和9年2月10日（水）15：00以降，出願サイトから合否結果の照会ができます。
出願サイトにログイン後，「出願内容一覧」から，「出願内容を確認」を選択し，「合否結果照会」で確認してください。また，合格者は，出願サイトから合格通知書や必要な書類のダウンロードができます。
- (3) 電話その他による合否の照会には一切応じません。

14. 入学手続

入学手続の詳細は，合格者に案内する「入学手続要項」をご覧ください。

- (1) 入学手続締切日

令和9年2月17日（水） 16:00 まで

入学手続期間内に入学手続を完了していない場合は，入学を辞退したものとして取り扱います。

○入学手続時に提出するもの

- ①大学入学共通テスト国公立大学入学確認票
- ②入学手続関係書類 *1
- ③写真（4 cm×3 cm）データ（学生カード用）
- ④最終出身学校卒業証明書 *2

※合格発表から入学手続までの期間が短いので，写真等入学手続に必要な書類の準備は余裕を持って行ってください。

*1 合格通知書と併せて案内します。

*2 令和9年3月卒業見込の方で，入学手続時に提出できない方は，令和9年3月18日（木）までに本学入試課へ提出してください（郵送可）。

- (2) 入学科等納入金

入 学 料	282,000 円
入学時諸費用 *3	54,660 円
前期分授業料	267,900 円
後期分授業料	267,900 円

入学科及び入学時諸費用については，入学手続時に必ず納入していただきます。また，授業料の納入については，4月以降に行っていただきますので，その納入方法は**合格者のみに案内する「入学手続要項」**において指示します。（入学時及び在学中に納入金の改定が行われた場合には，改定時から新入学科，新入学時諸費用及び新授業料を適用します。）

*3 入学時諸費用は，通学中や教育実習などの活動中の事故等に係る保険料（4年間分），教育研究経費，大学行事，就職，課外活動及び福利厚生への支援など様々な学生支援事業のための費用で，入学時のみの費用です。

また，本学では，すべての学部学生に「教材用パソコン（インターネットに接続できるノートパソコン）」を用意していただくことになっていきますのでご承知おきください。教材用パソコンの詳細については入学手続後にお知らせします。（本学生協で教材用パソコンに適したものを販売していますが，仕様を満たすものであれば，他の市販のパソコンや既存のパソコンをお持ちいただくことも出来ます。）

○ 納入方法

入学科及び入学時諸費用については，合格者の方に案内する「入学手続要項」に記載の方法にて，入学手続時に納入してください。

(3) 留意事項

ア 学校推薦型選抜の合格者は、他の国公立大学の一般選抜を受験しても入学許可は得られません。また、学校推薦型選抜の合格者が、令和9年2月17日（水）までに「推薦入学辞退願」（任意様式）を提出せず、入学手続を完了しないときは、合格を取り消されるとともに、他の国公立大学の一般選抜を受験しても入学許可は得られません。

ただし、「16. 入学辞退手続」により本学学長の許可を得た場合は、この限りではありません。

イ 入学手続完了者で高等学校を卒業できない場合は、入学許可を取り消します。

ウ 入学手続完了後に本学への入学を辞退する場合、納入済の入学料はいかなる理由があっても返還いたしません。

エ 免除又は徴収猶予申請者が入学手続完了（免除等申請）後に入学を辞退した場合は、「免除等申請を辞退」したものとしますので、直ちに入学料を納入していただきます。

オ 入学料・授業料の免除及び経済的支援については下記の愛知教育大学 Web サイトを参照してください。

https://www.aichi-edu.ac.jp/campus/support/menjo_nyugaku.html

入学手続に関するお問い合わせ先	学生支援課 TEL 0566-26-2173
-----------------	------------------------

15. 学生寮への入寮について

学生寮への入寮を希望する者は、合格者に案内する入学手続要項に記載の方法に従って申込みを行ってください。

学生寮についての詳細は、下記の本学 Web サイトを参照してください。

愛知教育大学 Web サイト HOME > キャンパスライフ > 学生支援関係：学生寮について

<https://www.aichi-edu.ac.jp/campus/support/dormitory.html>

学生寮に関するお問い合わせ先	学生支援課 学生寮担当 TEL 0566-26-2186
----------------	------------------------------

16. 入学辞退手続

学校推薦型選抜の合格者が、やむを得ず本学への入学を辞退する場合は、学校長は、理由を付した「推薦入学辞退願」（任意様式）を令和9年2月17日（水）までに提出し、本学学長の許可を受けなければなりません。この許可を受けずに他の国公立大学の一般選抜を受験しても入学許可は得られません。

17. 不合格者の再出願

(1) 不合格となった者は本学の一般選抜を受験することができます。この場合、別途、出願手続及び入学検定料の納入が必要です。

(2) 本学の一般選抜を受験する者の出願手続等は次のとおりです。

1) 合格者の発表が一般選抜の出願期間後となるため、あらかじめ出願手続を完了しておいてください。

2) 一般の入学志願者と同様に、「令和9年度愛知教育大学一般選抜学生募集要項」（令和8年10月中旬頃発表予定）により出願手続をしてください。

18. 教育・学習データ利活用について

本学では、「国立大学法人愛知教育大学教育・学習データ利活用ポリシー」を定め、日々の教育や学習に関するデータを取得し、そのデータを安全な方法で保持・分析を行い、客観的データに基づいて教育改善や学生等の学習支援を図るとともに、データ利活用から得られた成果を公開し、広く社会に還元することに取り組んでいます。

入学者選抜に用いた試験成績等の個人情報とは、入学後、教育・学習データとして取り扱います。

【参考】「愛知教育大学教育・学習データ利活用ポリシー」

<https://kitei.aichi-edu.ac.jp/doc/auekitei/print/708.html>

19. 個人情報の取り扱いについて

- ① 本学が保有する個人情報は、「個人情報の保護に関する法律（平成 15 年法律第 57 号）」等の法令を遵守するとともに、「国立大学法人愛知教育大学個人情報保護規程」等本学の関係規定に基づき厳密に取り扱い、個人情報保護に万全を期しています。
- ② 本学では、出願時に提出された個人情報（住所・氏名・生年月日等）及び入学試験成績情報は、入学選抜に関する業務、入学後の奨学制度申請、修学支援業務及びこれらに付随する業務並びに「愛知教育大学教育・学習データ利活用ポリシー」に基づくデータに利用します
- ③ 国公立大学の分離分割方式による合格及び追加合格決定業務を円滑に行うため、氏名及び大学入学共通テストの受験番号に限りて独立行政法人大学入試センター及び併願先の国公立大学に合否及び入学手続等に関する情報を提供します。

【参考】「国立大学法人愛知教育大学個人情報保護規程」

<https://kitei.aichi-edu.ac.jp/doc/auekitei/print/82.html>

20. 入学試験個人成績の開示

合格者発表後、総合型選抜の個人成績（総合点）を出願サイトにて開示します。

21. 安全保障輸出管理について

愛知教育大学では、「外国為替及び外国貿易法」に基づき、「愛知教育大学安全保障輸出管理規程」を定め、外国人留学生の受入に際し、厳格な審査を実施しています。

規制事項に該当する場合は、希望する教育が受けられない場合や研究ができない場合がありますので、注意してください。

【参考】「愛知教育大学安全保障輸出管理規程」

愛知教育大学規程集 <https://www.aue-kitei.jp/auekitei/index.html> より

第 10 章 研究連携・研究支援＞国立大学法人愛知教育大学安全保障輸出管理規程

経済産業省「安全保障貿易管理」 <https://www.meti.go.jp/policy/anpo/gaiyou.html>

22. 「こども性暴力防止法」に関する対応について

令和 8 年 12 月 25 日から、「こども性暴力防止法（学校設置者等及び民間教育保育等事業者による児童対象性暴力等の防止等のための措置に関する法律）」がスタートし、18 歳未満の児童等に対して教育・保育などを行う学校、保育所、学習塾などの事業者には、性暴力を防ぐための取組が求められています。

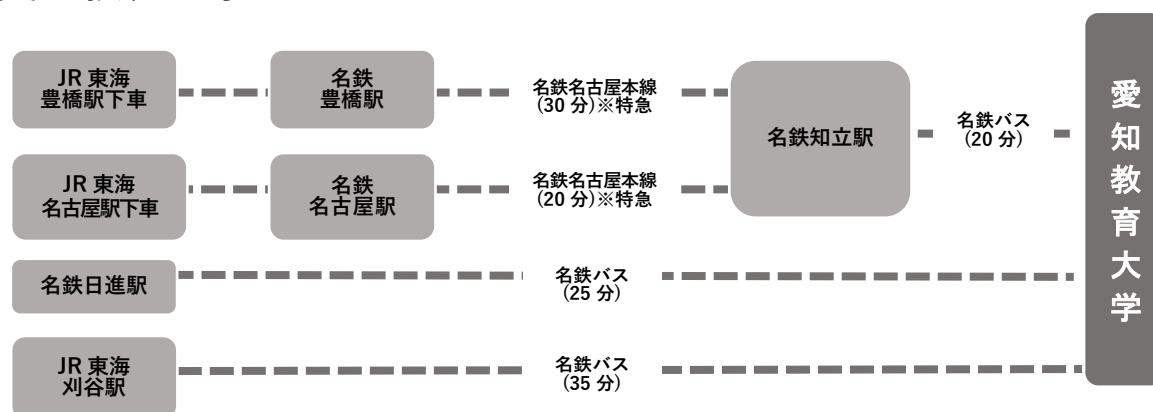
大学における教育においても、教育実習、学校体験活動といった授業やクラブ・サークル、ボランティアといった課外活動など、学生がこどもと接する活動（以下「実習等」という。）の機会が数多くある本学にとって、児童等への性暴力防止の推進は務めであります。本学は、同法の趣旨にのっとり、関係の事業者と連携の上、適正に対応してまいります。

このとき、同法の取組として、実習等の活動先となる学校等の事業者から実習等参加学生に、特定性犯罪前科の確認を求められる可能性もあるところ、犯罪事実が確認されれば、必修科目の授業はもとより種々の実習等を行うことはできなくなり、教育職員免許状等の資格取得や卒業・修了に影響する可能性が生じますので、これらのことについて、入学時に「同意書」を提出いただくこととしています。

【参考】「愛知教育大学における「こども性暴力防止法」に関する対応について」

<https://www.aichi-edu.ac.jp/intro/files/r7kodomoseibouryoku.pdf>

◆ 愛知教育大学へのアクセス



- 名鉄名古屋本線「知立駅」北口からバスで約 20 分「愛知教育大前」下車
- 名鉄豊田線「日進駅」からバスで約 25 分「愛知教育大前」下車
- JR 東海道本線「刈谷駅」北口からバスで約 35 分「愛知教育大前」下車

※鉄道・バスの発着時刻等については、各交通機関の Web サイト等でご確認ください。

※本文内容等に変更が出た場合は、本学 Web サイトにて公表しますので、ご確認ください。

問い合わせ先

〒448-8542 愛知県刈谷市井ヶ谷町広沢 1 愛知教育大学 入試課

TEL 0566-26-2202 FAX 0566-26-2200

Mail nyushi-madoguchi@aecc.aichi-edu.ac.jp

Web サイト <https://www.aichi-edu.ac.jp/>

※電話等によるお問い合わせは必ず志願者本人が行ってください。

「入試過去問題活用宣言」への参加について

本学は、「入試過去問題活用宣言」に参加しており、アドミッション・ポリシーを実現するため必要と認める範囲で「宣言参加大学」の入試過去問題あるいは類似問題を使用して出題することがあります。ただし、必ず使用するとは限りません。

詳細は、「<http://www.nyushikakomon.jp>」にて公表しています。不明な点等がありましたら、本学入試課へお問い合わせください。